



躍動

令和8年1月6日
校長 小西 昭 仁

皆さんにとって、「飛躍」「向上」、そして「新たな芽が成長」する年になりますように…

2026年（令和8年）がスタートしました。本年もよろしくお願いします。

皆さんは、どのような年越し、そして新年を迎えましたか。3年生は受験もあり、気を100%緩めることはできなかったかもしれませんが、新しい年を迎えると気持ちも改まり、清々しさを感じることはできたのではないのでしょうか。そのような中で、新たな目標などを決めて、今まで以上に前向きな生活を送り始めることと思います。

私は、箱根駅伝を沿道で応援することが好きで、今年も行ってきました。3日の復路6区5km付近（箱根最高地点から一気に下り坂が始まる場所）と7区小田原市内を流れる酒匂川（さかわがわ）付近、そして9区から最終10区へ襷をつなぐ鶴見中継所付近の3か所で応援をしました。母校の東海大学は残念ながらシード権内には届きませんでしたが、優勝した青山学院大学を筆頭に、学生ランナーたちの躍動する走りに、感動と元気をもらいました。また、応援をしている中でいつも感じるのですが、各大学の選手に選ばれなかったチームメイトたちが、給水や計時、選手の付き添いや監督からの指示を選手に伝えるなど、いろいろな場面で懸命に活動している姿を見て、各チームの襷への想い、チームが一つになることの大切さや素晴らしさを改めて感じさせてくれます。

昨年の第三中学校も、修学旅行や校外学習、体育祭や桜歌祭、そして様々な学級・学年活動や部活動などの中で、仲間との絆や信頼関係、楽しい思い出を深めたことでしょう。その経験や力を生かし、学級・学年・部活動、そして学校がより高みを目指す中で、皆さんがさらに成長していったほしいと願っています。

さて、今年は「午年」です。馬は「成長や成功、繁栄のシンボル」として、縁起が良いものとされています。また、今年は「丙午（ひのえうま）」で、植物の成長に例えると「芽が成長し、葉が広がり、成長が著しい状態」を意味するそうです。そのようなことから午年は「活発で前向きな年」「物事がスムーズに進みやすい年」「努力が形になりやすい年」と言われます。

この1年で得られる学びや経験を糧に、新たな自分を見つけられるよう、何事にもチャレンジしてみてください。まずは3月までの3か月、先を見据えて頑張っていきましょう。



“先大見笑”で気持ちよい挨拶を…

来校される方々に「第三中の生徒の皆さんは、挨拶が素晴らしいですね。」とお褒めの言葉をよくいただきます。私としては、とても光栄なことですし、皆さんを誇りに思います。

普段私は、登下校時の校門や校内を回っている時に、積極的に挨拶を交わすようにしていますが、先に挨拶してくれる人や元気な声で返してくれる人がたくさんいます。中には、立ち止まって挨拶してくれる人や校長室に顔を出してまで挨拶してくれる人もいます。

そこで、もっともっと素敵な挨拶を交わすことができるように、私から「挨拶の極意」を表した言葉を伝えます。 ※造語です。読み方は皆さんで考えてみてください。

「先大見笑」です！ 先：相手より先に挨拶しよう

大：先に挨拶されてしまったら、その人より大きな声で挨拶しよう

見：きちんと相手を見て挨拶しよう

笑：できるだけ笑顔で挨拶しよう

挨拶は、心と心を結ぶ架け橋であり、より良い人間関係を築くことができます。また、元気がない時もあるでしょうが、挨拶が気持ちを楽にしてくれることもあります。

さらに皆さん同士が、そして先生たちと気持ちよく生活できる第三中になるよう、「先大見笑」の挨拶を心がけてみてください。